

日本性科学会ニュース

Japan Society of Sexual Science

第41巻第1号 令和4年(2022年)3月

conference

第51回セックス・カウンセリング研修会

期 日：2022年5月29日（日）

会 場：オンライン（Zoom）

テーマ：ICD-11が示す「性の健康に関する状態」～治療の実際～

参加費：会員5,000円、一般8,000円、学生1,000円

第41回日本性科学会学術集会

日 時：2022年8月28日（日）9：00～17：00

開催方法：WEB オンライン&オンデマンド

オンデマンド配信期間：8月31日（水）～9月19日（月）

テーマ：性のQOLを高める支援のために性科学ができること

一般演題募集および抄録登録 開始日：4月11日（月）

締切日：6月15日（水）

参加費：会員・非会員8,000円、学生（大学院生除く）2,000円

H P：https://sites.google.com/view/jsss41th

教育講演：性のQOL支援の潮流

「Sexual pleasure から Sexual Justice の時代へ」

早乙女 智子（レイ・パストゥール医学研究センター 研究員・神奈川県立足柄上病院 産婦人科医）

「GSM と性のQOL（仮）」

関口 由紀（女性医療クリニック LUNA グループ 理事長）

第16回アジア・オセアニア性科学学会

The 16th Congress of Asia-Oceania Federation for Sexology (AOFs)

期 日：2022年8月19日（金）～21日（日）

開催地：コタ・バル（マレーシア・クランタン州）

テーマ：Promoting Sexual Wellbeing : Conversations on Different Perspectives

抄録登録締切日：2022年5月31日（火）

登録料：USD 120（～2022年8月4日）

H P：https://sites.google.com/view/jsss41th

会費納入のお願い

4月より新しい年度（2022年4月1日～2023年3月31日）に入りますので、2022年度会費（一般12,000円、役員15,000円、学生5,000円）のご納入をよろしくお願い申し上げます。

尚、学生の方は学生証のコピーを事務局にお送りください（メール添付可）。学生会員と認められた場合は、改めて学生会員用の郵便振替用紙を送付いたします。

発行人：針間 克己

発行：令和4年（2022年）3月

DTP：松田デザイン・スタジオ

日本性科学会

〒113-0033 東京都文京区本郷3-2-3 森島ビル4F

TEL・FAX: 03-3868-3853 E-mail: office@sexology.jp URL: https://sexology.jp/

性のアンケート新設項目に込めた思い

咲江レディスクリニック 丹羽 咲江

2019年10月から7か月間にわたり、私が共同代表をしている愛知・思春期研究会が主催となってアンケート調査を行い、愛知県内の6813人の高校生から回答が得られました。アンケート調査から、大半の子どもたちは性に関して自分ではそれなりに知っていて、不安も知りたいことも特に無いと考えていましたが、実際には適切な知識を持っているわけではなく、適切な行動ができていないわけでもないということが示唆されました。この様な性に関して無関心なグループが大半を占める一方で、SNS等を通じて異性と知り合い、知り合ってから短期間で頻回に相手を変えて容易に性交に至るといったリスクの高いグループも少数であるが存在していることがわかりました。

また、自分から避妊を言い出す女子、つまり自分の体を守ろうとする女子は4割しかおらず、ピルの使用率は避妊が必要な者の7.5%という結果でした(表1)。

産婦人科での日々の診療において、性という場面で男性と女性が真の対等な関係が築けていないために、女性だけが悲しい思いをするというケースをしばしば経験します。性的合意が取れるコミュニケーション能力を高め、自分の体の管理は自分で責任を持ち避妊は女性が行うべきものという認識を高める必要があります。そのためには、女性が予期しない妊娠から自身を守り、月経に振り回されない生活を送ることのできるツールであるピルに関する適切な知識や認識が必須です。

それにもかかわらず、現在の高校生で避妊法としてピルを選択する者はまだ少なく、避妊にはコンドームで十分、性行動が活発な人が使うものといった、ピルに対するネガティブなイメージを持っている子どもも少なくないという残念な状況でありました(表2)。ピルは最も確実でかつ女性が主体的に避妊をすることができる方法の一つで、月経痛や月経前症候群の改善などといった避妊以外の有益な面もあります。これらのピルに対する肯定的な面についても何らかの方法で伝えていくことが課題と考えます。

もう一つの大きな問題は、延べ102人もの子どもが無理矢理に性交されていたという事実です(表3)。おそらく彼らは誰にも相談できていないのではないかと思います。いつか彼らが被害から逃れようと家を離れた場合、経済的に行き詰って生活の面倒を見てくれる大人の家を転々と漂流することにもなりかねません。そういった大人の中には性的な行為が目的の方が多いと思われる

ため、再度性被害を受けてしまう可能性があります。どんな時に、誰に相談したら良いのか、ワンストップセンターや児童相談所の存在についても周知させる必要があります。

タブー視されがちな性を学ぶことがどうして必要なのでしょう。性の場面でどちらか片方だけが気持ちいいとか、独りよがりであったり、予期しない妊娠や性感染症などで相手を傷つけてしまってはいけません。自分と相手が共に健康で幸せに過ごし、優しい心でお互いに思いやって対等な立場で話し合い安心できる関係性を築くために、性を学ぶことが必要なのです。

皆さまにはすべての内容をご紹介しますでしたが、今回の性のアンケート調査は合計87問あり、148ページに及ぶ冊子にまとめました。ご希望の方はeikas@nifty.comまでご連絡ください。

表1 セックスをする時に「必ず」または「時々」避妊を実行すると答えた人について、あなたが避妊するために行っていることは何ですか？(複数選択可)

	男性(件数)	女性(件数)	男性(%)	女性(%)
コンドーム	492	296	96.7	96.7
ピル(経口避妊薬)	18	23	3.5	7.5
月経からの日数を数える	53	66	10.4	21.6
基礎体温を測る	7	6	1.4	2
膣外射精	115	58	22.6	19
その他	5	1	1	0.3
不明・無回答	3	2	-	-
全体	512	308	100	100

膣外射精が約2割。コンドームが大多数でピルはまだ少ない。

表2 ピルは避妊以外にも月経痛を軽減したり、月経の日をずらすために使いますが、あなたはピルについてどんなイメージを持っていますか？

	男性(件数)	女性(件数)	男性(%)	女性(%)
便利なもの	1,133	1,189	28.6	41.6
危険な副作用がある	489	414	12.4	14.5
飲むと太る	21	55	0.5	1.9
飲むと強い吐き気が出る	183	136	4.6	4.8
高い	375	380	9.5	13.3
避妊にはコンドームで十分だと思う	567	168	14.3	5.9
性行動が活発な人が使うというイメージ	810	420	20.5	14.7
不明・無回答	541	229	13.7	8
全体	3,956	2,857	100	100

表3 無理矢理性交をされたことはありますか？

	男性(件数)	女性(件数)	男性(%)	女性(%)
家族や親戚から	10	8	0.3	0.3
友人などから	18	21	0.5	0.7
学校・塾の先生から	6	3	0.2	0.1
その他知り合いの人から	11	14	0.3	0.5
知らない人から	1	10	0	0.4
ない	3,502	2,576	88.5	90.2
不明・無回答	412	234	10.4	8.2
全体	3,956	2,857	100	100

のべ102人の生徒が無理矢理性交されていた。男子97%、女子82%が顔見知りからの被害。

[追悼]

故 山崎 高明 先生 (享年92)



〔略歴〕

昭和 29 年神戸医大(現神戸大) 卒、京大医学部大学院卒、神戸医大産婦人科講師を経て兵庫県立がんセンター部長、昭和 40 年神戸市東灘区住吉東町にて山崎産科婦人科医院を開業。母体保護指定医、産婦人科専門医、日本性科学会認定セックスカウンセラー、セラピスト、スーパーバイザー

ダンディなハットと未完成婚

針間 克己

山崎先生でまず思い出されるのは、そのダンディなスタイルです。スリムな長身にパリッとしたスーツを着て、いつもしゃれたハットをかぶっていました。「神戸の先生は、おしゃれだな」と感心したものでした。気配りもされる先生で、入会してまもない私にもすぐに声をかけてくださいました。1993 年に第 13 回日本性科学学会を大会長として開催され、さらには 2000 年神戸で開催された第 6 回アジア性科学学会でも、地元医師としてご尽力をいただきました。個人的な業績としては、やはり「未完成婚」への取り組みです。「未完成婚」とは、結婚しても性交が行えていない状態を指す言葉です。今の感覚だと、「セックスをしないと結婚ではないのか」と、疑問を持つ人もいるかもしれません。しかし、当時はセックスの悩みを公に語ることもできず、セックスの悩みは誰にも打ち明けられない問題でした。そのような状況下で、産婦人科医の立場から「未完成婚」に取り組んだことは実に先駆的であり、性の健康と権利を守る取り組みであったと思います。ご冥福をお祈り申し上げます。

追悼 山崎高明先生

早乙女 智子

山崎高明先生といえば、なんといっても「未完成婚」の大家という認識です。まだ私が性科学会に入って学び始めたころ、結婚していても挿入が完遂しない状態についてご発表されていたと記憶しています。みかん？性？婚？という聞きなれない言葉に出会い、挿入できないと結婚は完成しないのか、と当時は妙に納得したのを覚えています。学会 HP から過去の大会について見ていくと、1993 年 9 月 19 日に神戸で第 13 回の学術集会会長をされており、その時の会長講演は「当院における未完成婚」とあります。

その他には、第 13 回性治療研修会(1983 年)「不感症の診断と治療」、第 14 回性治療研修会(1984 年)「未完成婚」、第 17 回性治療研修会(1987 年)「心因性不感症」、第 18 回性治療研修会(1989 年)「性治療のコツ・・・性交痛 婦人科の立場から」と題して講演されています。

私がお話を聞いたのは東京の研修会だった気がするのですが、神戸の学会に行ったのか、あるいは一般演題として他の年度に出されたものなのか、残念ながら覚えていないのは山崎先生の凛とした背筋の伸びたお姿とゆるぎない信念に基づいたご発言だけでした。自説を曲げられないところはありましたが、夫婦関係を何とかしてあげたいという思いが伝わりました。時代とともに性についての考え方やニーズも変わりますが、その想いは受け継いでいきたいと思います。

心よりご冥福をお祈り申し上げます。

山崎高明先生の思い出

大川 玲子

山崎先生の思い出は日本性科学会の前身、JASCT のそれと重なる。設立時からのメンバーで長く理事を務められ、私にとって本会の先輩である。先生を知る会員の印象は「学会で筆者と意見を戦わせていた」そうであるが、反論するということは産婦人科医師で sex therapist という共通項があってこそである。私の知る山崎先生は「神戸でご盛業の産婦人科医師」であるが、それ以前はがんセンターで診療しておられ、婦人科がん治療後患者さんの、セクシュアリティの大事さに気づいたことが JASCT 入会のきっかけと聞いている。敦子先生というセラピーの後継者を作られたのも先生の業績である。

1993 年、第 13 回性科学会の会長を務められたが、当時の学会雑誌、抄録号を読み返すと、神戸の林知恵子・石川英二先生、性科学会セラピストの金子和子・堀一子先生に混じって、筆者も一般演題を発表している。地域の学校の先生や産婦人科医の性教育の話題もあった。教育講演は故武田敏先生の「エイズ教育」で、エイズの脅威から性教育が盛んであった時代を懐かしく思い出された。鮮明な記憶は会長招宴である。隣席の未知の美人は、なんとゲストの鳳蘭さんであった。個人的にも先生と親しくされ、山崎産婦人科で出産もされたとのこと。素敵なディナーショーでは、せっかくのサービスに性科学会の男性ドクターたちがコチコチになっていた。山崎先生、素敵な思い出をありがとうございます。

2022・2023 年日本性科学会理事選挙結果

この度、理事選挙（全国1ブロック）において、下記の通り立候補届けがありました。

立候補者・受付順

針間 克己 高波 眞佐治 菅沼 信彦 中塚 幹也 石原 理 茅島 江子 大川 玲子 早乙女 智子 内田 洋介

それぞれの立候補者について、立候補資格要件（5名の推薦者、入会以後3年以上）をチェックしすべて適格でありました。

また、立候補者数が定員の枠内でありますので、無投票で全員を当選者と決定いたしました。

2022年3月5日

日本性科学会選挙管理委員会委員 石丸 徑一郎 花村 温子

セックス・カウンセラー セックス・セラピスト資格認定委員会報告

資格認定委員会委員長 大川 玲子

本年も日本性科学会「セックス・カウンセラー」「セックス・セラピスト」資格認定更新規定（日本性科学会雑誌に掲載）に基づき、2022年度資格更新が行われます。「資格更新」に関する告示は、6月発行の日本性科学会ニュースに掲載されます。

尚、更新該当者氏名（登録順）は以下の通りです。資格認定更新規定を熟読の上、更新希望者は御準備をお願い申し上げます。また、同時に2022年度新規資格認定に関する告示もニュース6月号で行います。

資格更新該当者

セックス・カウンセラー 山崎 眞子

セックス・セラピスト 茅島 江子 森村 美奈 小堀 善友 渡會 睦子

日本性科学会 一般社団法人化に向けて

日本性科学会副理事長 早乙女 智子

2021年度の総会での承認を経て、法人化に向けて定款を作成中です。法人化しなくても今のままで良いのではないかというご意見も頂きますが、学会が内部だけでなく対外的にも社会的な役割を説明することが可能な組織であるためには法人化が好ましいと考えています。時代に合わせて組織の再編を考えることは喫緊の課題であり学会の存続には欠かせないと思います。

COVID-19で学会のありようも変わりました。これまで多くの学会で行われてきた、毎年、学会に出かける楽しみについては、地球がNOと言っているのかも知れません。新しい生き方の中でできることを模索していきたいと思えます。

法人化の手順は会則をもとに、司法書士さんと相談しながら定款を検討しています。見直してみると、会則そのものが遵守されていない部分や明文化されていないこともあり、カウンセリング室の運営なども整理や強化が必要な状況です。

同時に、理事の役割や、研修会、資格認定などの運用も見直す必要が出てきたので、それぞれワーキンググループを作って検討しています。zoom会議は便利ですが、気付くとテーマが違うものの、毎日のように似たメンバーで会議をしていることもあります。

今年中の法人化を目指しています。途中経過をお知りになりたい方やご意見のある方は是非、事務局までお問合せください。